

KANDAI NEWS
■ 関大ニュース

コミュニケーション・マークとタグラインを策定

関西大学は4月から、本学ブランドのさらなる価値向上を目指し、新しいコミュニケーション・マーク「Global 'KU'」とタグライン「THINK × ACT」(シンク・バイ・アクト)を策定した。これらは、昨年7月に策定した関西大学の将来像を示す長期ビジョン『KU Vision 2008-2017』が目指す方向性、「社会を見つめ、変化に挑む。「考動」する関大人が世界を拓く。」を端的に表現している。今後、本学の価値を感覚的に伝え、望ましいイメージを醸成するブランディング・デザインとして活用される。



◀コミュニケーション・マーク
「「考動」する関大人が世界を拓く。」をコンセプトとし、地球をK、U2つの文字で作り、「考動力」を身につけた関大人が世界を拓く様子を表す。

THINK × ACT

▲タグライン
関大らしい、ダイナミックで行動力のある知識人の育成を謳う。「考動」すなわち思考と行動の相互作用、シナジー効果を意味する。

大屋翼さんがヴィッセル神戸に入団



©ヴィッセル神戸

今春、文学部卒業の大屋翼さんが、サッカーJ1ヴィッセル神戸に入団した。念願の入団に際し、「大学の4年間で人間的に成長できたことは、選手生活のプラスになるはず。レギュラーを目指して頑張る」と飛躍を期する。

大屋さんは鳥取県岩美町生まれ。人気サッカー漫画「キャプテン翼」にちなんで命名され、5歳でサッカーを始めた。180cm、74kgの左サイドバック。的確なポジショニングと1対1の強さが持ち味で、長短距離のパスも評価が高い。大学時代には、ヴィッセル神戸の特別指定選手に選ばれて経験を積み、主将として約160人の部員をまとめた。

関西大学北陽中学校開校に向け生徒募集活動を開始

関西大学は、2010年4月からの関西大学北陽中学校(設置認可申請中)開校に向け、生徒募集活動を開始した。開校予定地は大阪市東淀川区上新庄(北陽高等学校隣地)。入学定員は120名。新中学校設置は、昨年4月に北陽高等学校が「関西大学北陽高等学校」に生まれ変わったことに伴い計画され、学習、クラブ、生活等全ての面において中心的な役割を担って活躍する生徒を育て、中・高・大の10年間を見据えた一貫性のある教育を通じ、社会の中核を担い、地域貢献や国際貢献のできる人材を育成することを目的とする。

「関西大学学長表彰」第1号に名切卓男氏

今春、関西大学は正課または課外諸活動において顕著な功績を収めた学生を称えるための「学長表彰」制度を創設した。受賞者は、現役の技術者として



名切卓男氏(左)と河田梯一学長

働きながら2008年、本学大学院において61歳で博士号を取得し、環境に優しいエコ電線の開発で、電気系の国際学会IEEE(米国電気電子学会)から最高賞に選ばれた名切卓男氏。名切氏は関西電力に勤務するかたわら、田實佳郎教授の下で研究を開始し、既製品と変わらない性能があり、自然の中で分解されるこの電線を開発した。4月21日の学長表彰受賞に際し名切氏は、「好きなことを続けて認められたのは、技術者として幸せ」と喜びを語った。

高槻新キャンパスの名称が決定

3月30日、2010プロジェクト推進委員会において、高槻新キャンパスの名称が「関西大学 高槻ミュージックキャンパス」に決定した。新キャンパスが所在するJR高槻駅北東地区のタウンコンセプトが「ときめきタウンMUSE(ミュージック)高槻」であり、地域連携に合致すること。また、MUSEは学芸の女神を意味し、museum(ミュージアム)の語源であり、amusement(楽しみ)やmusic(心地よい響き)にも通じることから、大学、教育・研究機関のネーミングとしてふさわしいことが決定の理由である。

関西大学小中高一貫教育シンポジウムを開催



2010年4月開設予定の高槻ミュージックキャンパスは、新しい小学校・中学校・高等学校による新たなコンセプトの小中高一貫教育を目指す。その小中高の「新しい学び」のスタイルを紹介し、一貫教育の意義について考えるシンポジウムが、4月25日に千里山キャンパスで開催された。基調講演は作家の重松清氏による「ことばの力〜子どもたちの未来のために〜」。パネルディスカッションでは「これからの時代に小中高一貫教育が果たす役割」について、芝井敬司副学長がコーディネーターとなり、重松氏と関西大学の田尻悟郎教授、黒上晴夫教授、米津俊司開設準備総括が論議を交わした。